

日本物理療学会誌

投稿規定

1. 本誌への投稿は著者及び共著者は原則として、本学会員に限る。ただし依頼原稿の際はこの限りではない。
2. ヒトを対象にした研究はヘルシンキ宣言の精神に基づき、また動物実験は「大学等における動物実験の実施に関する基本的な考え方について」(学術審議会)の主旨にそったものとする。
3. 原稿の種類は、原著論文、報告(実験報告、症例報告)、総説、短報等であり、著者はそのいずれかを明記する。論文の内容は、物理療法に関するもので有れば分野を問わない。
4. 原稿の採否は、複数の査読を経て編集委員会で決定し通知する。投稿された原稿は原則として、返却しない。
7. 他の出版物(国の内外を問わず)に発表、あるいは投稿されていないものに限る。また全著者が論文内容に異議のないことを証明するために全著者より自筆の署名を得ることとする。
8. 論文等の著作権(著作権法 27 条翻訳権、翻案権等 28 条二次的著作物の利用に関する原著作者の権利)は、当学会に帰属する。
9. 当学会は、当該論文等の全部または一部を、当学会ホームページ、当学会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとする。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがある。
10. 著者校正は初校のみとし、原則として文章、図表等の大幅な書き換えは認めない。
11. 別刷は有料とし、著者の希望部数分、実費にて徴収する。なお、最終校正時に希望をとる。
12. 原稿送付方法は、原則として投稿原稿一式(執筆規定参照)を1つのPDFファイルにまとめ、電子メールに添付して編集部へ送付する。上記以外での投稿を希望する場合は、編集部にお問い合わせる。

執筆規定

1. 原著論文の構成は、表題、著者名、要旨(和文・英文)、キーワード、本文とする。表題は内容を具体的に、できるだけ簡潔に記載する。著者名は、論文に寄与するところの多い必要最小限とする。要旨は、内容を的確かつ簡潔に記載する。本文は、1) はじめに、2) 対象と方法、3) 結果、4) 考察、5) 研究の限界、6) 結論、7) 謝辞、8) 引用文献とする。
- 1) はじめに：研究の背景、意義、目的を先行研究との

関連性を踏まえて記載する。

- 2) 対象および方法：倫理的配慮および研究方法が再現・追試できるように記載する。
- 3) 結果：研究により得られた結果を、本文、図表を用いて記載する。データは、検証、追試が行いやすいように図(グラフ)よりも表にして数値で記載する。
- 4) 考察：得られた結果を分析・評価したことから論理的に推論できる範囲で記載する。
- 5) 研究の限界：用いた研究デザイン、対象、方法などから、研究の限界を簡潔に記載する。
- 6) 結論：研究で得られた結論を、200字程度で簡潔に記載する。
- 7) 謝辞：著者に該当しない研究への貢献者、および助成金受給等を記載する。
- 8) 文献：論文に引用した文献のみを記載する。
2. 原稿の規定枚数は、原則として刷り上がり8頁(13,000字相当)とする。短報等については、原則として刷り上がり4頁(6,500字相当)とする。また、図表は1/4頁大のもの1枚につき400字相当と換算する。原稿はA4用紙(上下・左右余白20mm)に40×30行設定で、Wordに準ずるソフトウェアで作成する。原稿の種類を問わず、和文要旨(400字程度)をつける。また原著論文には英文要旨(250語程度)をつける。
3. 原稿執筆時には、以下の点に注意すること。
 - 1) 常用漢字、現代仮名遣い、算用数字を用いる。句点にはピリオド(.), 読点にはコンマ(,)を使用する。
 - 2) 本文および図表のタイトル・説明文にはMS明朝体12ポイントで作成する。イタリック体などの書体の指定については著者校正時に指定する。
 - 3) 各見出し(対象と方法、結果等)前の1行を空ける。また文章は1段組で打ち、段落毎に文頭1文字空ける。改行の場合は、必ず文末に(強制)改行マークを入力する。
 - 4) 図表および表題・説明文は本文末とし、本文中には組み込まない。
 - 5) 数字や欧文は半角文字を使用し、単位は欧文半角文字を組み合わせて入力し、単位記号は使用しない。
 - 6) 上付きや下付の文字や数字など(H₂Oなど)は、著者校正時に指定する。
 - 7) 原稿には、頁番号および行番号をつける。
 - 8) 図・表は以下の様式によって作成すること。
 - a) 図・表は、図1、表1などの一連の番号を付け、1図表毎に表題・説明文を含めてA4用紙1枚に作成、本文末にまとめる。
 - b) 図の番号および表題は図の下に付ける。表の番号と表題は表の上に付ける。説明文等は、図表とも下に付ける。

- c) 図・表・写真の作成・編集は Adobe Illustrator, Adobe Photoshop に準ずるソフトウェアを使用する。写真の画像形式は psd, tiff, jpeg とし、解像度 350 dpi 以上とすること。
- d) PowerPoint で図表を作成する場合は、各スライドを tiff 形式で保存後に、Word に貼り付けた後に PDF に変換する。
- 9) 数量の単位は原則として国際単位系 (SI 単位) を用いる。長さ: m, 質量: kg, 時間: s, 温度: °C, 周波数 Hz 等を使用する。但し、物理療法機器のエネルギーがパルス波の場合、その頻度の表記に pps (pulse per second) を用いてもよい。
- 10) 略語は初出時にフルスペルおよび和訳も記載する。
- 11) 機器名およびソフトウェアは、「一般名称 (製品名, 会社名)」、「一般名 (製品名, バージョン番号, 会社名)」とする。
- 12) 倫理審査の承認を受けている場合は、原稿投稿時には承認番号のみ記載し、倫理委員会名等は記載しない。
- 13) 英文要旨は、原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を著者の責任で受ける。
- 14) 文献は以下にしたがって記載する。
- a) 文献は引用文献のみとし、本文の引用順に並べ、引用箇所の右肩に 1) などの番号で示す。本文原稿の最後に番号順に記載する。
- b) 筆頭者から 3 名までは著者名を記載し、4 名以上は「・他」もしくは「, et al」とする。
- c) 記載方法は下記の例示による。
- ① 雑誌の場合: 著者名: 表題名, 雑誌名, 巻(号): ページ, 発行西暦年。

[例]

金原一宏, 菅原 仁, 坂口光晴・他: 腰椎間歇牽引療法が腰椎分節可動性に及ぼす影響. 日本物理療法学会誌, 11 (1): 29-34, 2004.

Wong AM, Leong CP, Chen CM, et al.: The traction angle and cervical intervertebral separation. Spine, 17 (2): 136-138, 1992.

- ② 単行本の場合: 著者名: 表題名書名 (版), (編者名), 発行所, 発行地 (英単行本のみ), 発行西暦年, ページ。

[例]

嶋田智明: 電気刺激療法. 理学療法ハンドブック改定第3版, (細田多穂, 柳澤健編), 協同医書出版, 2000, pp721-747.

- ③ 訳本の場合: 原著者名: 書名 (版), 発行所, 発行西暦年 (訳者名: 表題名, 書名, 発行所, 発行西暦年, ページ)。

[例]

Michelle HC (編著): Physical Agents in Rehabilitation from Research to Practice, WB Saunders, 1999 (真野行生, 渡部一郎 (監訳): 根拠・意思決定・臨床適応. EBM 物理療法, 医歯薬出版, 2003, pp215-269)

4. 投稿原稿一式は、1. 表紙, 2. 著者情報, 3. 誓約書, 4. 和文要旨, 5. 英文要旨, 6. 本文, 7. 図表で構成する。
1. 表紙には以下を付記する。1) 希望原稿種別, 2) 表題, 3) キーワード (和文), 4) 英文表題, 5) 和文要旨文字数, 6) 英文要旨語数, 7) 本文文字数, 8) 図表枚数 (文字数), 9) 総頁数。
2. 著者情報には以下を付記する (表紙の頁より必ず改頁し, 作成する)。1) 著者名, 2) 所属先, 3) 英文著者名, 職位 (PT, MD, Ph.D など), 4) 英文所属先, 5) 所属先住所・電話等, 6) 責任者連絡先住所・電話・e-mail 等
5. 当会ホームページの投稿フォーマット参照のこと。

投稿先:

〈日本物理療法学会機関誌編集委員会〉

編集委員長 烏野 大

(株)アイベック内「日本物理療法学会機関誌」編集部

担当: 荒木禎祐

e-mail: araki@ipec-pub.co.jp

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-12

Tel: 03-5978-4067 FAX: 03-5978-4068

〈機関誌編集委員会〉

編集委員長 烏野 大

編集副委員長 杉元 雅晴

編集委員 木村 貞治 金原 一宏

川村 博文 庄本 康治

菅原 仁 鈴木 重行

武政 誠一 津野 弘美

中山 彰一 演出 茂治

藤原 孝之 西角 昌実

柳津 健 山本 双一

山元 総勝 Goh Ah Cheng

付 則

本投稿規定および執筆規定は平成24年4月1日から施行する。

誓約書

日本物理療法学会 殿

論文名

上記の論文は、下記の者が共同で執筆したものであり、今までに他の雑誌に掲載、あるいは投稿中でないこと、及び生命倫理に十分配慮されていることを誓約致します。

また、この論文が「日本物理療法学会会誌」に掲載された場合、その著作権を日本物理療法学会に譲渡することに同意します。

筆頭著者 印 (年 月 日)

共著者 印 (年 月 日)
